



Seamless, Energy, Relations & Activation

未来のエネルギーネットワークをデザインする
“SERAカンパニー”へ！

東光高岳グループ 2027年3月期 第1四半期

決算補足資料

2026年7月30日

東証プライム市場（6617）

代表取締役社長 一ノ瀬 貴士

2026年度 第1四半期 決算概要

1. 2026年度 第1四半期 業績概要

＜対前年同四半期比較＞

- ・事業セグメント構成比
- ・売上高の状況
- ・利益の状況

2. 受注高の状況

【参考資料】

2026年度 第1四半期 各事業セグメントの状況

＜対前年同四半期比較＞

1. 2026年度 第1四半期 業績概要

<対前年同四半期比較>



当社は、当第1四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益で過去最高の業績を達成いたしました。

- 連結売上高につきましては、GXソリューション事業、光応用検査機器事業が減少したものの、電力機器事業、計量事業の増加などにより、**25,293百万円（前年同期比9.5%増）**となりました。
- 利益面では、売上高の増加に伴い、**営業利益2,130百万円（前年同期比44.5%増）、経常利益2,178百万円（前年同期比38.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,853百万円（前年同期比514.6%増）**といずれも増益となりました。
- 当第1四半期連結累計期間において賃貸用ビルを売却したことに伴い、固定資産売却益5,400百万円及び修繕引当金戻入額1,335百万円を特別利益として計上しております。
- なお、通期の業績見通しについては、現時点でおおむね当初想定の範囲内であることから、2026年4月28日公表の連結業績予想に変更はありません。

（単位：百万円）

	2026年度 第1四半期(A)	2025年度 第1四半期(B)	増減 (A)-(B)	前年比
売上高 ※	25,293	23,100	+2,192	+9.5%
営業利益	2,130	1,473	+656	+44.5%
経常利益	2,178	1,575	+603	+38.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,853	952	+4,901	+514.6%
※ うち東京電力パワーグリッド殿向け売上高	12,434	9,712	+2,721	+28.0%
パワーグリッド殿向け売上高構成比	49.2%	42.0%	+7.1%	+16.9%
受注高	32,941	29,030	+3,911	+13.5%

1. 2026年度 第1四半期 業績概要

－事業セグメント構成比（2026年度 第1四半期 売上高）－



光応用検査機器事業セグメント

三次元検査装置など **1%** (1%)

不動産賃貸

その他の事業 **1%** (1%)

G Xソリューション事業セグメント

4% (10%)

エネルギー管理システム（EMS）関連（マンション、テナント向け自動検針システム、照明・空調の省エネ制御システム、スマートグリッド向けシステム）、充電インフラ（電気自動車用急速充電器）、クライアントソリューション事業（情報関連機器）、PPP／PFI事業（プロポーザル関連事業）など

【連結子会社】
株式会社ミントウェブ

計量事業セグメント

38% (34%)

スマートメーター、スマートメーターアセンブリセンター（SMAC）、取引用変成器、計量工事（電力メーター取替工事）など

【連結子会社】
ワットラインサービス株式会社
蘇州東光優技電気有限公司
東光東芝メーターシステムズ株式会社

電力機器事業セグメント

56% (54%)

電力プラント機器（プラント一式取り纏め、大型変圧器、開閉装置、制御装置、断路器など）、配電機器（開閉器、小型変圧器、配自用制御器など）、受変電設備の工事など

【連結子会社】
タカオカエンジニアリング株式会社
タカオカ化成工業株式会社
東光器材株式会社

2026年度第1四半期
売上高
セグメント構成比
252億円
(231億円)

() 内は2025年度第1四半期売上高構成比

1. 2026年度 第1四半期 業績概要

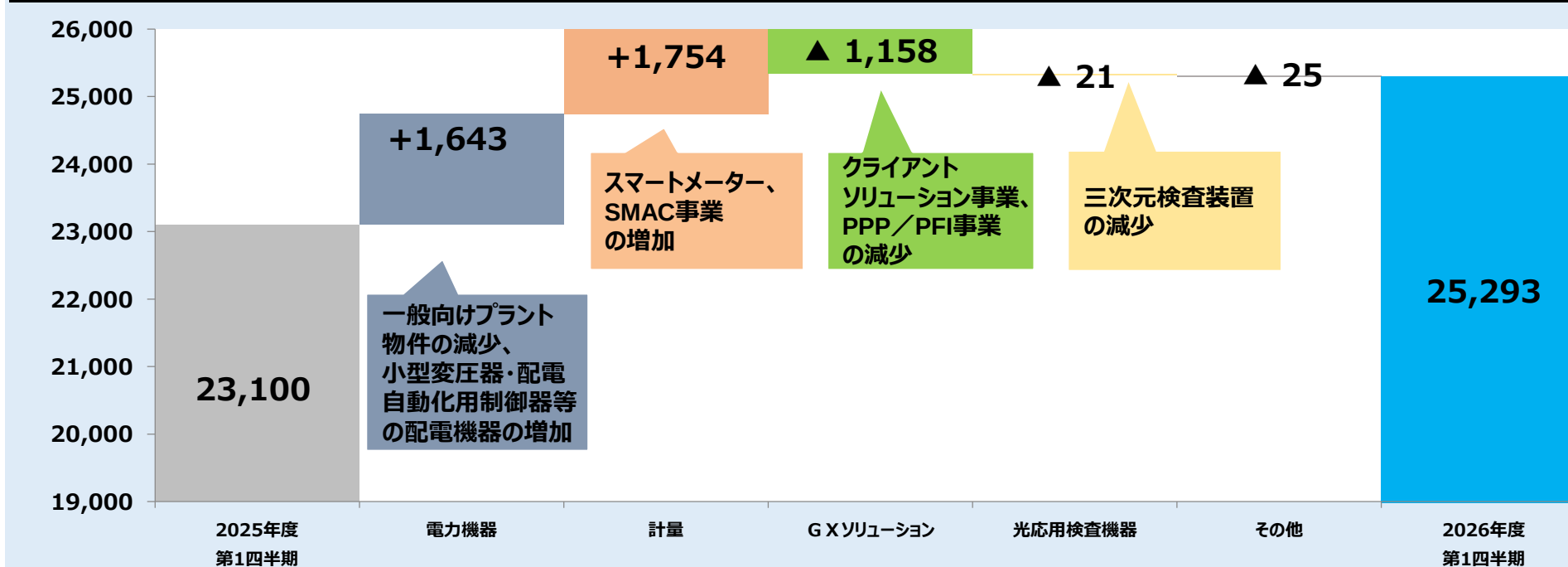
－売上高の状況 <対前年同四半期比較>－



【セグメント別 売上高】

(単位：百万円)

セグメント名		2026年度 第1四半期		2025年度 第1四半期		前年比	
		金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業		14,246	56.3%	12,603	54.6%	+1,643	+13.0%
計量事業		9,739	38.5%	7,984	34.6%	+1,754	+22.0%
G Xソリューション事業		1,033	4.1%	2,192	9.5%	▲ 1,158	▲ 52.9%
光応用検査機器事業		52	0.2%	73	0.3%	▲ 21	▲ 28.4%
その他の事業（不動産賃貸）		220	0.9%	245	1.1%	▲ 25	▲ 10.2%
セグメント別売上高 合計		25,293	－	23,100	－	+2,192	+9.5%



1. 2026年度 第1四半期 業績概要

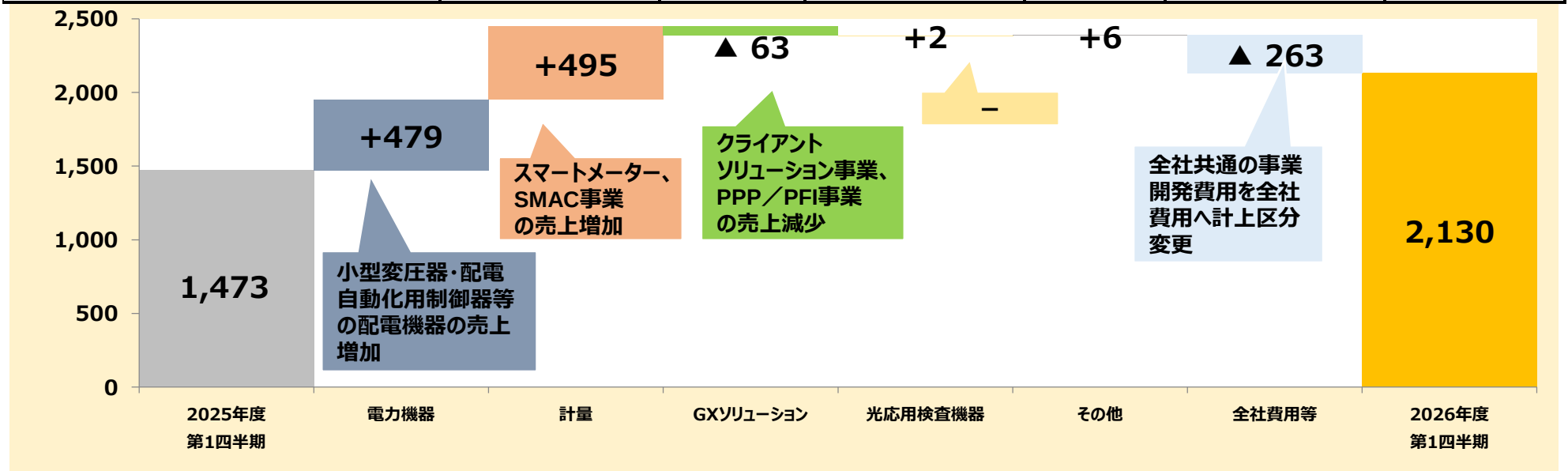
－ 利益の状況 <対前年同四半期比較> －



【セグメント別 利益】

(単位：百万円)

セグメント名		2026年度 第1四半期		2025年度 第1四半期		前年比	
		金額(A)	利益率	金額(B)	利益率	増減額(A)-(B)	増減率
電力機器事業		2,452	+17.2%	1,973	+15.7%	+479	+24.3%
計量事業		1,627	+16.7%	1,132	+14.2%	+495	+43.7%
G Xソリューション事業		▲ 370	▲ 35.9%	▲ 306	▲ 14.2%	▲ 63	▲ 20.8%
光応用検査機器事業		▲ 94	▲ 178.2%	▲ 96	▲ 131.0%	+2	+2.7%
その他の事業（不動産賃貸）		167	+75.8%	160	+65.3%	+6	+4.3%
セグメント別利益 合計		3,781	+15.0%	2,861	+12.4%	+920	+32.2%
全社費用等（連結調整含む）		▲ 1,651	－	▲ 1,387	－	▲ 263	－
営業利益		2,130	+8.4%	1,473	+6.4%	+656	+44.5%



2. 受注高の状況

【電力機器事業】 特別高圧受変電設備において、蓄電所向けを含む社会インフラ向け受変電設備と電力会社向けガス絶縁開閉装置の大型案件の受注を確保したことに加え、小型変圧器および配電自動化用制御器の出荷が増加したことから、前年同期比で1,731百万円の増加となりました。引き続き、データセンターや蓄電所向けの特別高圧受変電設備を重点ターゲットとし、採算性を重視した確実な受注獲得を進めてまいります。

【計量事業】 第2世代スマートメーターの出荷本格化により、前年同期比で2,580百万円の増加となりました。引き続き、スマートメーター分野においては、SMACの本格稼働や生産ライン刷新によるコスト競争力強化を背景に、更新需要を取り込み、全電力会社での受注拡大とシェア向上を図るとともに、変成器分野では採算性を重視した原価改善を進め、収益性を伴う受注の積み上げに取り組んでまいります。

【GXソリューション事業】 P P P / P F I 分野では、自治体・公共施設向けLED照明更新案件の具体化が想定を下回ったことから、前年同期比で1,031百万円の減少となりました。引き続き、リカバリー案件の受注確保に取り組んでまいります。

【光応用検査機器事業】 三次元バンプ検査装置における新設案件および改造案件の受注を確保したことに加え、二次元画像処理装置の受注も好調に推移したことから、前年同期比で656百万円の増加となりました。引き続き、AI向けを中心としたロジック系先端半導体の量産化進展を背景とする引き合いに対し、確実な受注獲得に取り組んでまいります。

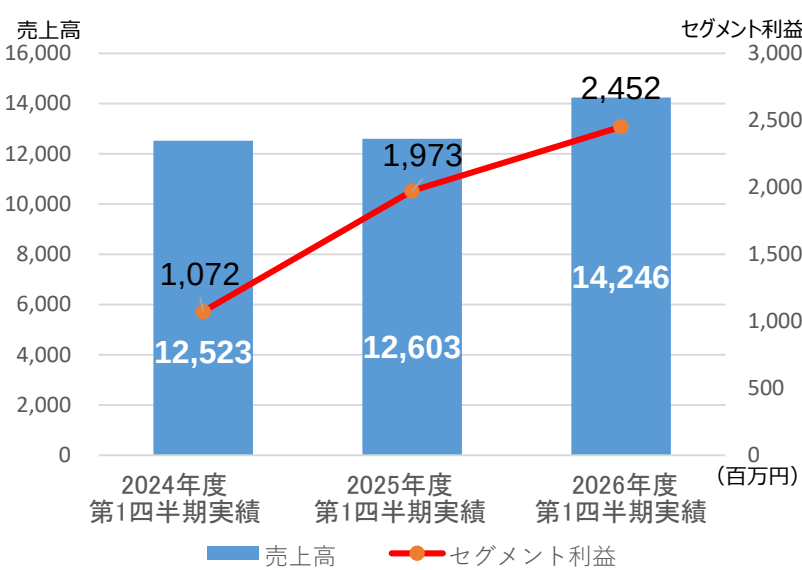
(単位：百万円)

	2026年3月末 受注残	2026年度 第1四半期		2026年 6 月末 受注残
		受注高	売上高	
電力機器事業	67,458	19,243	14,246	72,455
計量事業	5,960	10,610	9,739	6,831
GXソリューション事業	2,437	2,075	1,033	3,479
光応用検査機器事業	898	791	52	1,637
その他の事業	—	220	220	—
連結計	76,754	32,941	25,293	84,402
前年同期比	—	+3,911	+2,192	+4,696

2025年度 第1四半期	
受注高	増減
17,512	+1,731
8,030	+2,580
3,106	▲1,031
135	+656
245	▲25
29,030	+3,911

【参考資料】2026年度 第1四半期 各事業セグメントの状況

<対前年同四半期比較>



電力機器事業セグメント

	2026年度第1四半期実績(A)	2025年度第1四半期実績(B)	増減(A)-(B)	前年比(%)
売上高	14,246	12,603	+1,643	+13.0%
セグメント利益	2,452	1,973	+479	+24.3%

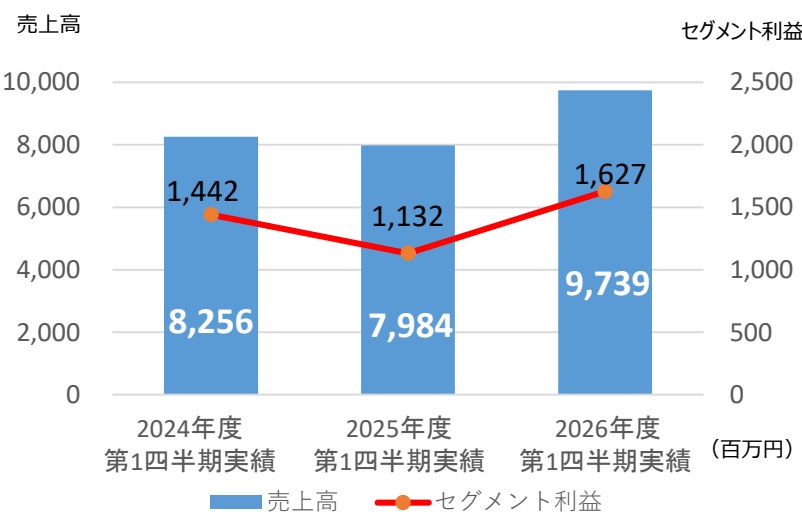
売上

【増加要因】 小型変圧器・配電自動化用制御器等の配電機器や監視制御システム
【減少要因】 一般向けプラント物件 ※

利益

【増加要因】 小型変圧器・配電自動化用制御器等の配電機器や監視制御システムの売上増加
【減少要因】 一般向けプラント物件は計上案件差異により利益影響は軽微

※一般向けプラント物件は、当第1四半期で対前年比売上減となっておりますが、通期ではおおむね前年度並みとなる見通しです。



計量事業セグメント

	2026年度第1四半期実績(A)	2025年度第1四半期実績(B)	増減(A)-(B)	前年比(%)
売上高	9,739	7,984	+1,754	+22.0%
セグメント利益	1,627	1,132	+495	+43.7%

売上

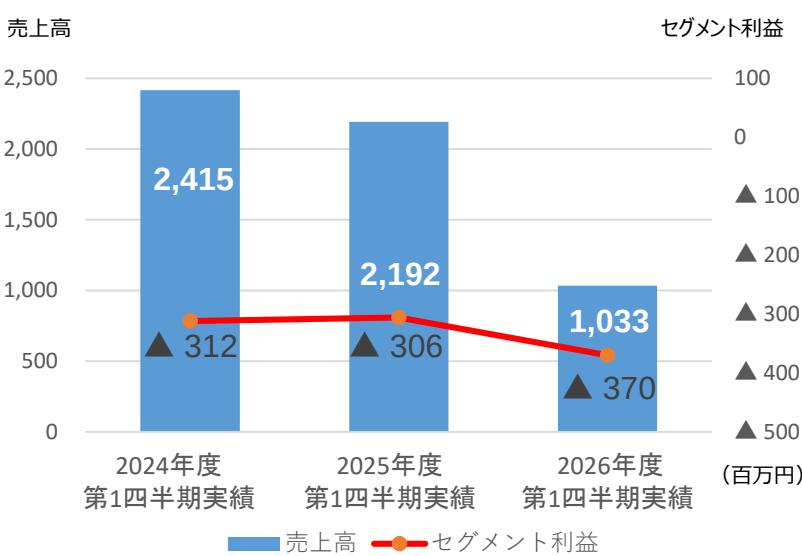
【増加要因】 スマートメーター、SMAC事業、変成器類
【減少要因】 計量工事

利益

【増加要因】 スマートメーター、SMAC事業、変成器類の売上増加
【減少要因】 計量工事の売上減少

【参考資料】2026年度 第1四半期 各事業セグメントの状況

<対前年同四半期比較>



G Xソリューション事業セグメント

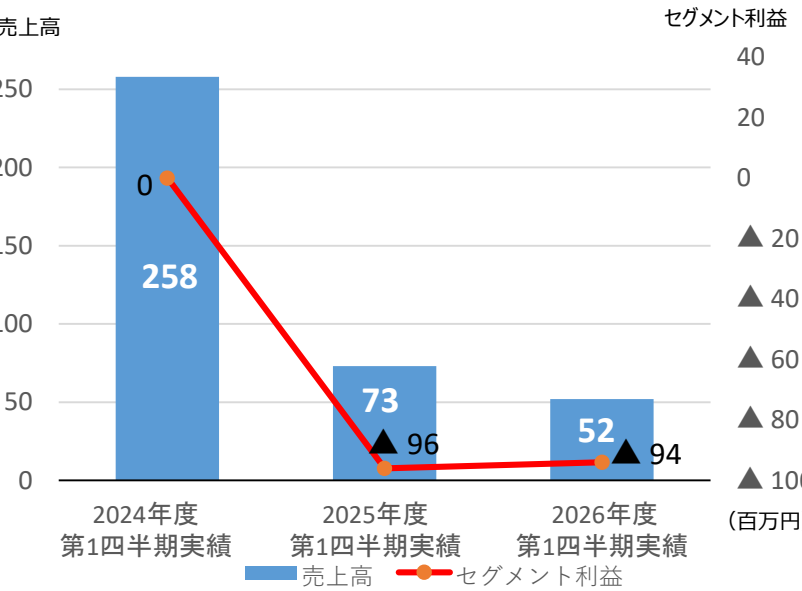
	2026年度第1四半期実績(A)	2025年度第1四半期実績(B)	増減(A)-(B)	前年比(%)
売上高	1,033	2,192	▲ 1,158	▲ 52.9%
セグメント利益	▲ 370	▲ 306	▲ 63	▲ 20.8%

売上

【増加要因】－
【減少要因】クライアントソリューション事業、PPP／PFI事業、EV用急速充電器

利益

【増加要因】－
【減少要因】クライアントソリューション事業、PPP／PFI事業、EV用急速充電器の売上減少



光応用検査機器事業セグメント

	2026年度第1四半期実績(A)	2025年度第1四半期実績(B)	増減(A)-(B)	前年比(%)
売上高	52	73	▲ 21	▲ 28.4%
セグメント利益	▲ 94	▲ 96	+2	+2.7%

売上

【増加要因】－
【減少要因】三次元検査装置

利益

【増加要因】前年同期と当四半期の売上計上案件の採算性の違い
【減少要因】－